

注意点1



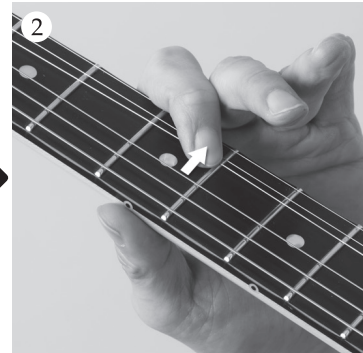
左手

微妙な音程を使って
細かいニュアンスをつけよう

メイン・フレーズ1小節目2拍目には、3弦5フレットのクォーター・チョーキングが登場する。“クォーター”とは1/4音という半音のさらに半分の音程になるが、**実際の演奏では必ずしも音程を1/4音分上げる必要はない**。したがって、音に表情をつけるような感覚で、弦を少し持ち上げるとよいだろう（写真①&②）。



クォーター・チョーキング前の3弦5フレットの押弦。人差し指でチョーキングの準備をして……。



弦を少しだけ下側に引っ張ろう。非常に微妙な音程変化になるので、ニュアンスをつけるような感覚で弾くとよい。

注意点2



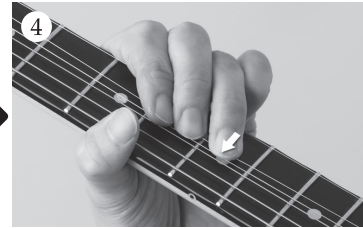
左手

半音という音程変化を
耳で正確に確認せよ！

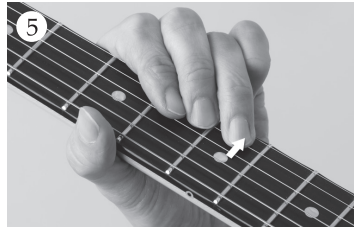
メイン・フレーズ2小節目1拍目ウラ～2拍目に登場するハーフ・チョーキングとハーフ・ダウンは、音程を半音分（1フレット分）変化させるチョーキング・テクニックとなる（写真③～⑤）。初心者は、弦を持ち上げ過ぎてピッチが高くなってしまいがちなので、**チョーキングの音程を耳でしっかり聴き取りながら演奏することが大切だ**。



2小節目1拍目ウラ。2弦7fを薬指で押弦して……。



音程が半音分上がるように、弦を持ち上げよう。



ハーフ・ダウンでは、弦をもとの位置に正確に戻そう。

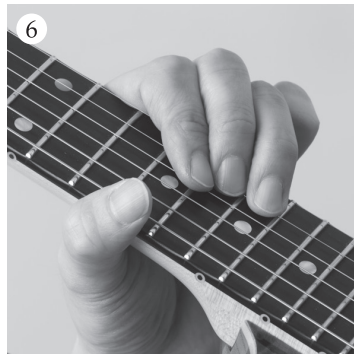
注意点3



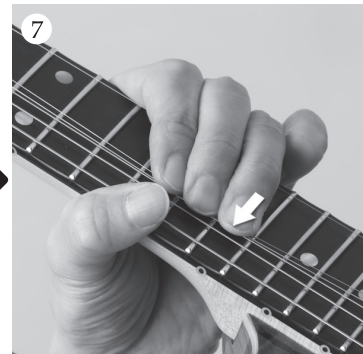
左手

ネックを握り込んで
弦を1音半分上げるべし！

メイン・フレーズ4小節目1拍目の1音半チョーキングは、音程を1音半分（3フレット分）上げるチョーキングとなる（写真⑥&⑦）。薬指の力だけでは弦をしっかり持ち上げることは難しいので、**親指でネックを握り込むことが大切だ**。ちなみに、1音半チョーキングは、2本低い弦の位置まで弦を持ち上げると、目標の音程に近づけられるだろう。



4小節目1拍目の1音半チョーキング。ネックをしっかり握り込みながら、2弦17fを押弦しよう。



手首のひねりを加えながら、弦を1音半分持ち上げよう。2弦より2本低い4弦付近を目指すとよい。